

COMPASS5.0 事業の背景と取組みについて

(1) 背景

Society5.0 時代やデジタルトランスフォーメーション(DX)時代が押し寄せ、IT 技術が今以上に求められています。特に、AI、サイバーセキュリティ、ロボット、IoT 等を組み合わせる実装力、そして、そのベースとなる数理データサイエンスの学びも必須となっています。

このような要請に応えるため、高専機構として第4期中期目標期間において、ICTを駆使した未来技術の中核となる人材を育成するために、【高専発!「Society5.0 型未来技術人財」育成事業】をスタートし、この事業の中で、新時代に向けた教育の取組みとして、「COMPASS5.0」と定義し、高専全体のプロジェクトとして進めていくこととなりました。

このプロジェクトは、イノベーション創出に向けた人財を育成するために、「AI・数理データサイエンス」、「サイバーセキュリティ」、「ロボット」及び「IoT」の教育パッケージ(到達目標、教材・教員研修、教育実践事例、その他に他高専への情報発信と展開支援ならびに継続的な活動)を構築するものです。同時に、それらの教育パッケージをベースにして、学校の個性・特色を反映させ、第4期中に伸長・深化させていく分野や体制を構築し、地域の課題発見解決型の学び等を通じて、未来技術をリードする人財を育成する体制の構築を目指すものです。

このプロジェクトを進めるにあたって、高専機構は中核となりプロジェクトを推進する拠点校を公募し、全国で数高専採択されました。富山高専は、「AI・数理データサイエンス」分野の拠点校として採択され、同じく拠点校として採択された旭川高専及び高専機構本部と連携し、「(2) 取組み」に記す事項を実施いたします。

(2) 取組み

拠点校は、(1)背景で記した目標のため、令和2年度から令和5年度の4年間に以下のことを実施します。

- 到達目標の策定
 - ・カリキュラムへの落とし込みや教育プログラムの認定制度の整理 等
- 教材開発・教員研修
 - ・到達目標と紐付いた教材収集・開発
 - ・新しい学びに対する教員研修 等
- 他高専へ展開するための教育実践事例
 - ・シラバス、教材、教育方法の整理 等
- 他高専への情報発信と展開
 - ・教育パッケージの展開
 - ・社会ニーズの情報発信 等
- 拠点校としての特色の伸長・深化のサイクル構築
 - ・カリキュラム・体制強化
 - ・教材の継続的なアップデート 等